

# 京浜港における海上コンテナ貨物の 鉄道フィーダー輸送モデル事業

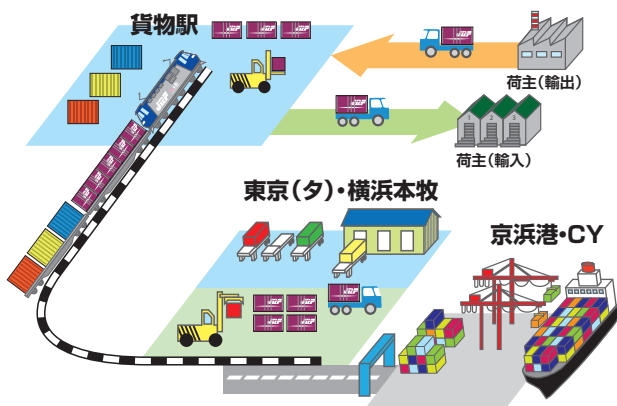
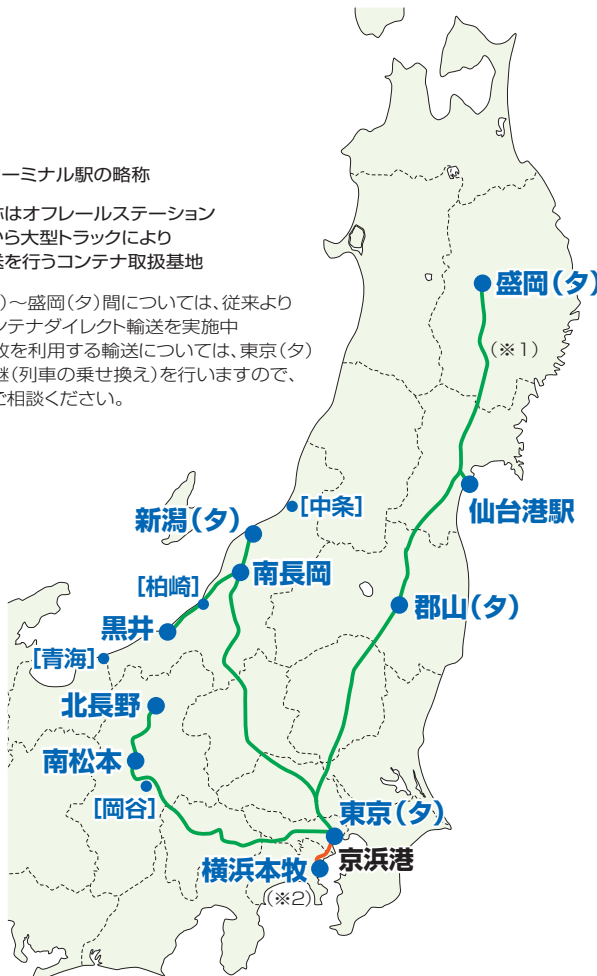
東京貨物ターミナル駅・横浜本牧駅を玄関口として  
京浜港と国内各地を鉄道で結び、  
スピーディでデイリーな輸出入貨物の国内配送体制を整えます。

(夕)は貨物ターミナル駅の略称

[ ]内の名称はオフレールステーション  
拠点駅から大型トラックにより  
中継輸送を行うコンテナ取扱基地

※1 東京(夕)～盛岡(夕)間については、従来より  
海上コンテナダイレクト輸送を実施中

※2 横浜本牧を利用する輸送については、東京(夕)  
での中継(列車の乗せ換え)を行いますので、  
事前にご相談ください。



## 主な駅の荷役能力

### 東京貨物ターミナル駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	○

### 横浜本牧駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	○

### 新潟貨物ターミナル駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	—

### 黒井駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	○

### 北長野駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	—	—

### 南松本駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	—

### 郡山貨物ターミナル駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	○

### 仙台港駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	○

### 盛岡貨物ターミナル駅

取扱可能コンテナ

JR 12ft	ISO 20ft	ISO 40ft
○	○	○

取扱駅又は路線によってコンテナ高さに制限がある箇所がありますので  
具体的には個別にご相談ください。

このモデル事業では利用者ニーズに合わせ、  
2つのパターンの輸送方法により  
輸出入貨物の鉄道輸送へのモーダルシフトを推進していきます。

**DIRECT** ダイレクト輸送

取扱可能区間はISO規格海上コンテナを直接貨車に載せる『ダイレクト輸送』。



**MODE SWITCH**

モードスイッチ輸送

東京(夕)内で迅速にコンテナ間の積み替えを行い、京浜港~東京(夕)間は海上コンテナのピストン輸送を行う『モードスイッチ輸送』。

「カモツエキナカ」で便利に  
すばやく『モードスイッチ』



- コンテナ間の積替機能  
JR12ft ⇄ ISO20・40ft
- 通関機能(保税蔵置場)
- 短期保管(調整)機能



12フィートコンテナ利用の **メリット**

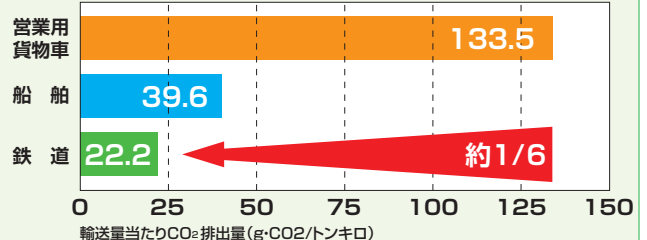
- 国内トラック輸送と同様、コンテナの荷積み・荷降ろしまでの作業手配が可能ですので荷主の作業負担を軽減できます。
- 小ロットな12フィート単位の集荷・配達を行えますので倉庫スペースを有効活用できます。
- 貨物駅での荷役制限や貨車による輸送制約がなくすべてのコンテナ貨物駅との発着が可能です。
- 輸入貨物の場合は港湾地区への空コンテナ返却が不要となるため、無駄な回送輸送をなくしCO<sub>2</sub>排出量削減に大きく貢献できます。輸出貨物の場合も同様に、空コンテナの手配は最寄りの貨物駅からの取出しが可能となり、港湾地区からの回送を省略できます。

モーダルシフトによる効果

鉄道や海運へのモーダルシフトにより、CO<sub>2</sub>排出量の削減が図られると共に、道路混雑の緩和等の効果も期待される。



CO<sub>2</sub>排出量の削減



出典：国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィスのデータ及び各輸送機関の統計資料を元に国土交通省作成

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室  
TEL : 045-211-7437

株式会社 ジェイアール貨物・インターナショナル  
TEL : 03-5493-1112  
日本貨物鉄道株式会社 ロジスティクス本部 国際物流開発部  
TEL : 03-5367-7399